

# 議案質疑

全議案に対する質疑は、3月5日に行われ、3人の議員が14項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

議案第5号

## 市建設計画の見直しは適正か

【議員】今般、筑西市建設計画の変更議案が提案されている。提出した理由は何か。

【企画部長】東日本大震災で被災した自治体への特例措置として、合併特例債の活用期限を最大10年間延長することができることとなった。本市も被災自治体であるため、建設計画を変更し10年間延長を行うものである。



筑西市建設計画

【議員】新たな計画には今後10年間の事業計画と財政計画が網羅さ

# 質疑

れている。新中核病院の整備費やスピカビル本庁舎整備費等を積算した根拠は何か。

【企画部長】今回の変更は10年間の延長が主である。財政計画は、今後想定される合併特例債活用予定事業を概算で盛り込んだものである。

議案第19・20・21号

## 消費税値上げによる影響は

【議員】消費税8%に伴う市民生活への影響が心配される。水道料金等への影響はいかがか。

【上下水道部長】消費税の増に伴う平成26年度当初での影響額は、水道事業の給水収益で約4,500万円の増税、一戸当たりの平均的使用量20m<sup>3</sup>で、月額117円の増。公共下水道事業の使用料では1,167万円の増税、一戸当たり月額88円の増。農業集落排

水事業の使用料では442万6千円の増税、一戸当たり月額40円の増。増税に伴う一戸当たりの影響額は合計で245円を見込む。また上下水道事業全体の収入部分に係る増税額は6,531万円となる。

【議員】5年ごとの料金見直しはどうするのか。

【上下水道部長】平成25年度は料金改定の時期だが、消費税の引き上げに配慮し今回は見送った。

議案第26号

## 高齢者が望む公共交通とは

【議員】デマンドタクシー利用者の80%超が60歳以上の高齢者で、利用目的の半数が通院だ。これら状況から、高齢者を介助する家族割引制度の導入や夜間・土日の運行、更には、コミュニティバスの



デマンドタクシー「のり愛くん」

導入など、交通弱者が利用しやすい環境整備を検討してはどうか。

【企画部長】現在、大人1人片道300円と、県内でも一番安いクラスで料金で運行している。事業拡大には関東運輸局との協議、タクシー事業者への影響、更なる市の財政負担等が伴う。今後、本市の実情に即した持続可能な公共交通体系のあり方について幅広く調査検討したい。

## 人事紹介

### 監査委員の選任に同意

監査委員1名が任期満了となるため、議会の意見を求められ、次の方の推薦に同意しました。

渡邊 洋子(再任)  
筑西市木戸224番地1

### 人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員2名が任期満了となるため、人権擁護委員法の規定により議会の意見を求められ、次の方の推薦に同意しました。

上野 登美子(再任)  
筑西市奥田243番地2  
日向 猛(新任)  
筑西市築地246番地